

笑顔いっぱい とぼっ子応援団

鯖江市鳥羽小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	5回
中学校区を単位とした協議会	0回
地域及び家庭への学校公開	19回 (のべ) 21日

(2) 地域人材の活用 (のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	13人
授業ボランティア (含: 低ボラ)	88人
登下校支援ボランティア	24人
その他 ()	人

(3) 特色ある活動

テーマ「心の教育の充実」

本校では学校経営ビジョンのもと「思いやりの心」を育むため、体験活動（自然体験・社会体験・ボランティア体験・ものづくり体験）の充実にあたってきた。

①各教科等と関連づけた体験活動の充実

3年生は国語「すがたを変える大豆」の学習とタイアップしながら、大豆の栽培、収穫、炒り豆、きな粉、豆腐作り等に取り組んだ。一連の学習を通して、作物の生長や栄養などについての知識を得たり、農業や製造業など食に携わる人の苦勞に気づいたりするなど食育の学習を深めることができた。日本で昔から食べられている大豆の栄養価や日本人の知恵のすばらしさに気づく児童も見られた。



【豆腐作り】

2年生活科「わくわく町探検に行ってみよう」では、グループ毎に校区内の史跡を巡り、見学をしたり地域の方の話を聞いたりした。この学習を通し、児童は地域の方に感謝する気持ちや地域を誇らしく思う気持ちをもったようである。

②地域人材・ボランティア等の積極的活用

上記の活動では、延べ50人の地域人材およびボランティアの協力を得ることができた。その方々と児童が地場給食の日と共に給食を食べ交流を深める機会を設けたり、「ありがとう集会」に招待し、手紙や言葉で感謝の気持ちを伝えるなどして心のつながりを図ってきた。参加者からは「感動した」「孫は卒業するがボランティアは続けたい」などの声を聞くことができた。

これらの活動の様子は学だよりや地域・学校協議会だより、ホームページなどで家庭や地域に知らせ、次の活動へつなげた。



【ありがとう集会】



【地域・学校協議会だより】

成果と課題

協力いただいたボランティア数は、昨年度比10%増となった。様々な取組を積極的に情報公開した結果、特に校長発行の学だよりは100号に及び、「子どもたちの良いところも悪いところもタイムリーに分かる」「子育てのヒントをもらっている」と保護者や委員、地域の方にも好評であった。

今後はさらに「心の教育の充実」とともに「親しみと信頼のおける学校」「安全で安心できる学校」を目指して、職員一丸となって取り組んでいきたい。

※A 4 版 1 ～ 2 枚程度で作成してください。